

平成 28 年 8 月 29 日

(公財)日本ハンドボール協会 競技本部

負傷者カード表示について

皆様既に御存知のとおり、本年 7 月 1 日競技規則変更により、コート上で治療行為を受けたプレイヤーは、速やかにコートを出なければなりません。その後、そのプレイヤーは自チームが 3 回の攻撃を終えるまでコートに戻ることはできません。(競技規則 4 の 11 および競技規則解釈 8)

これを示すために、各試合で記録席(オフィシャル席)のチーム側端に当該プレイヤーの番号を記入した『負傷者カード』を表示し、その後コートへの再入場ができるようになったことを、負傷者カード表示を取り除くことによりチームに通知することといたします。

なお、これは各試合に選任されるテクニカルデレゲート(TD)の任務とします。

円滑な競技運営が行われますよう、皆様の御協力をお願いいたします。

『負傷者カード』の作成と利用について

- ① 日本協会ホームページからダウンロードし、A4版でプリントアウト。
- ② 二つ折りにし、A5版でパウチラミネート加工を施す。
- ③ 番号を記入する際は、ホワイトボード用(水性)マーカーを使用すると繰り返し利用できる。
- ④ チームタイムアウトスタンド(日本協会にて販売中)などを利用し、記録席(オフィシャル席)端に立て表示する。

